

# 若気の至り

ロック・フェスティバル

NHK京都の音楽イベントプロジェクト、その名も「若気の至りプロジェクト」がスタートしました。数々の有名アーティスト、伝説の音楽シーンを生み出してきた京都に、また新たな1ページが生まれます。京都の音楽を、京都のロックを愛する人といっしょにこのプロジェクトをやりたい。“究極のアマチュアリズム”のココロで。

ひとつはこれまで先人達がつくり上げてきた京都の音楽シーン、歴史を振り返りながら、積み重ねてきた歴史を大切に、あらためて京都の若者達に伝えていこう・・・というコンセプト。

もうひとつは、そんな京都の音楽歴史を大切にしながらも、いまの京都で、いまの若者達の手で新しい京都の音楽シーンをつくっていこう！という取り組みです。

そして、このプロジェクトから生まれたロックフェスティバル。日々新しい音楽が生まれ、“深化”を続けている。けれど世間に取り上げられる音楽とは遠く、むしろ覆い隠してしまっている。

そんなものは取っ払い、普段交わる事のない音楽シーンをクロスオーバーさせる事で、現在の僕等の音楽を届ける。

次世代のカウンター・カルチャーがこの若気の至りロック・フェスティバル！！

このイベントを作る人も、イベントに参加する人も、ステージで演奏するアーティストも、みんながひとつに熱くなる音楽イベントを開催します！

放送予定

平成21年3月9日(月)午前0時25分～1時44分

(3月8日深夜)

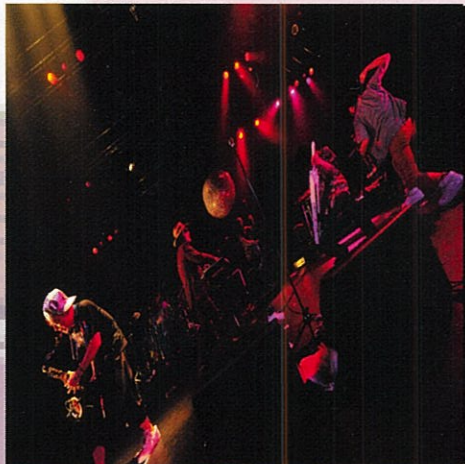
NHK総合 京都ローカル(UHF32ch)

## 出演アーティスト

### SOIL&"PIMP" SESSIONS

社長、タブゾンビ、元晴、丈青、秋田ゴールドマン、みどりの6人によって2001年に結成。これまでに椎名林檎やZAZEN BOYSと共演。またフジ・ロック・フェスティバルや世界最大規模の音楽フェス、グラスストンベリー・フェスティバルといった国内外の様々なイベントに出演。さらにはNHK「トップランナー」2007年度テーマ曲を手がけ、2008年には4枚目のフル・アルバム『PLANET PIMP』をリリースするなど多彩な活動を繰り返している。世界中のありとあらゆる場所を、唯一無二の「爆音ジャズ」で散らかしてきた彼ら。その音が鳴っている間、僕らの日常は無くなり、「楽しさ」だけがある。それってとても贅沢だ。観客のテンションが上がれば上がるほど、彼らの熱量と共に音量まで大きくなる。2月15日、春秋座でのステージが待ち遠しい。

(岡村 基紀 龍谷大学)



SOIL&"PIMP" SESSIONS



envy Yoshiharu Ota

### envy

国内では、化粧品のCMソングに使用されるなどアンダー・グラウンドを飛び越えメジャー・フィールドにも影響を与え、現在の日本の音楽シーンにハードコアという概念を伝える大きな役割を果たしている。「ハードコア」この言葉を聞くと、多くの人は「危ない」や轟音に近い「激しい音」を連想する。もちろんそれは間違ではなく、正しいとも言える。しかしenvyを聴けば気づけよう。「ハードコア」は非常に繊細で美しいものであるということに。(渡邊宏章 立命館大学)

### キセル

京都発の兄弟ユニット、キセル。ゆったりループするダブ・サウンドが、聴く者を心地よい空間へと誘う。ポップなフォーク・ソングは、エフェクトを駆使した浮遊感溢れるオーガニックなサウンドで表現される。2008年にアルバム『magic hour』をリリース。フジ・ロック・フェスやカウント・ダウン・ジャパンへも出演。また韓国でライブを行うなど活動の幅を広げている。心を打つ歌詞と優しい歌声...そして支える音。むしろその音に私は震える。キセルの音は絵になる。音が立ち現れ、包み込み、世界を紡ぎだす。そこは様々な音たちがやってきては去る無常な世界。あるのは切なさではなく、生成と再生の織り成す新しさと心地よさ。キセルとは、全感覚で感じる音体験、全身が浸る音世界。若気の至りロックフェスティバル、春秋座という会場は、キセルの音でどのように染まるのだろうか？ここに響くキセルの音楽を浴びたい！

(堀 紗貴 京都大学)



キセル



遠藤賢司

### 遠藤賢司

不滅の男、遠藤賢司。ポップ・ディラン、ドアーズなどに触発され音楽活動を開始。現在まで、還暦を越えても精力的で活動が止むことはない。自他ともに認める純音楽家。一本のギターから奏でられるのは、紛れもないロックである。歴史的名盤を多数発表し、今なお進化し続ける男、エンケン。四畳半の部屋でカレー・ライスを食べながら夢みる永遠の夢想者。ロックとの出会いは人それぞれだけれど、その独自のリズムにのせて吐き出される言葉は、誰にだってストレートに突き刺さる。俺たちに、そのむき出しの言葉を投げつけてくれ！夢よ叫べと！

(松田直樹 同志社大学)

### 怒髪天

怒髪天は1984年、札幌にて結成された4人組ロック・バンド。1988年から現在に至るまで、増子直純 (Vo)、上原子友康 (G)、水泰而 (B)、坂詰克彦 (Dr) という不動のメンバーで活動している。R&E (リズム&演歌) という日本男児の泥臭さ・汗臭さを染み込ませた独自のスタイルを確立し、ライブを中心に精力的な活動を続けている。パフォーマンスは見る者すべてを笑顔に変えることができ、現在のロック・フェスにとって欠かせない存在。ロック、パンク、フォークやハードロックなど異種多様のジャンルを吸収し放射されるサウンドは、喜怒哀楽すべての感情を爆発させ、聴く者達を直ちに決起させてしまう。何が起ころうか、何が迫ってこようか揺るがない無敵の感情。視て聴いて感じていれば誰も抱くであろう。怒髪天はわれわれの「応援団」である。

(坂田邦彦 龍谷大学)



高木正勝

PHOTO BY MASAOKI MITA

### 高木正勝

映像と音楽を融合。デビュー以来、そのクオリティーの高さゆえに注目を集め続ける京都在住アーティスト。青木孝允とのユニットSILCOMでの活動、Corneliusのミュージック・ビデオ作成など、世界最大級のデジタル・フィルム・フェスティバル『REFEST』にて最も注目する世界の10人のクリエイターに選ばれるなど、活動のジャンル・場所にとらわれず、めまぐるしい活躍をとげている。活動スタイルも様々。ライブではソロから10人編成のオーケストラまで。今回の若気の至りロック・フェスティバルでは、そのオーケストラ・スタイルで高木正勝の世界にさらに奥行きを。美しいや「素敵」なんてことばじゃもう足りない。芸術やアートをつくりものではなく、ただただ感じられることすべてが、ここにはある。息をひそめたくなるほどのこのころのときめきを春秋座と一緒に感じましょう。

(とよしま ゆうこ HMC大阪校)

## タイムテーブル

13:00 OPEN

14:00 SOIL&"PIMP" SESSIONS

14:30 hakobune

(from 立命館大学ロックミュージック)

14:45 キセル

—BRAKETIME—

15:30 怒髪天

16:00 ちんどん×妖怪

スペシャルパフォーマンス

16:15 envy

—BRAKETIME—

17:00 遠藤賢司

17:30 「爆裂キョウトノウ」

17:45 Tai Rei Tei Rio